

## 長澤会長による船員教育機関（海技教育機構、神戸大学、広島商船）訪問

2026年6月30日（火）～7月2日（木）まで、当協会長澤会長は独立行政法人海技教育機構（JMETS）、国立大学法人神戸大学および独立行政法人国立高等専門学校機構広島商船高等専門学校を訪問、各施設で行われている教育訓練の様態を視察しました。

### 1. JMETS 練習船「銀河丸」

6月30日（火）JMETS 保有練習船「銀河丸」視察では、佐々理事長をはじめとしたJMETS 関係者からJMETS 概要をご説明頂きました。続いて練習船内では操船・機関シミュレーターや実習訓練設備、航海船橋、救命設備、医務室、機関室、食堂、無線室、教室、衛生設備など実際の航海訓練の現場に加えて実習生居住区域を通じて実習生の生活環境なども見学させて頂きました。

銀河丸全体を視察させて頂いた後、佐々理事長、長淵船長・荒川機関長等の皆様とJMETS 練習船の活用状況や航海訓練の現状および課題、今後の船員養成や我が国海事産業群の意義ならびに外航日本人船員の現状や世間の認識などの諸課題について意見交換させて頂きました。また、昨年の海の日に邦船3社（日本郵船、商船三井、川崎汽船）および当協会がJMETS への練習船寄贈に向けた検討開始を踏まえた現況の共有、近代化を要する実習生向け設備等、今後検討すべき課題等についても率直な意見交換をさせて頂きました。



航海船橋



係船機



機関制御室



佐々理事長、長淵船長等と意見交換

### 2. 神戸大学

翌7月1日（水）神戸大学視察では、藤澤学長および同大学海洋政策科学部教員の方々をはじめとした神戸大学関係者から同大学海洋政策科学部における人材育成の取り組み状況等のご説明がありました。その後の意見交換では当協会から外航日本人船員確保・育成に苦勞している事例等を紹介したところ、藤澤学長より医学部においては、医師不足や地域間の医師偏在の解消を目的として設けられた地域枠入試があり、奨学金の貸与を受けながら学び、卒業後に一定期間指定地域で勤務することで奨学金の返還が免除される制度の例などもご紹介頂きました。

続いて見学させて頂いた学内施設では校内練習船の海神丸にはじまり、実習用カッター、曳航水槽・アンカー水槽、溶接・旋盤・鋳造実習施設、ディーゼルおよびボイラ・タービン機関、操船・機関室シミュレーター、航海学実験室および RADAR/ARPA 実習施設と各種設備を視察させて頂いたうえ、質疑応答にもご対応頂きました。



藤澤学長、平山海事科学研究科長等と意見交換



海神丸航海船橋



ボイラ・タービン機関



鋳造実習施設

### 3. JMETS 海技大学校

同日の JMETS 海技大学校視察では、練習船「海技丸」船内見学からはじまり、海技大学校の概要等をご説明頂いた後、操船シミュレーター、内燃機関実習実験室、機関訓練センター、LNG バンカリングシミュレーター、GMDSS シミュレーターに消火講習用コンテナと数多くの校内施設を視察させて頂きました。

施設見学後は佐々理事長、石倉校長他の方々と、所謂新三級制度をはじめとした今後の船員養成需要に関する幅広い意見交換を行うとともに、今後の検討課題として関係機関との連携が不可欠との認識で一致しました。また、より実践的な教育訓練等についても意見交換を行いました。



海技丸航海船橋



GMDSS シミュレーター



ディーゼルエンジン



LNG バンカリングシミュレーター

#### 4. 広島商船高専

7月2日(木)広島商船高専視察では冒頭、現場視察の一環として学生が利用中の食堂で昼食を取らせて頂きました。続いて逸見校長や清田副校長他の方々から広島商船高専概要、高専と他機関の関係、設置学科(総合科学科・商船学科)等について説明があり、その他にも広島商船高専では現在四代目練習船広島丸(1997年竣工)の代替船となる五代目広島丸が2026年3月に起工されたばかりであり、今後数年以内に新たな練習船が竣工予定との説明もありました。また、複数の船員教育機関が資金確保の策としてネーミングライツを採用しているところ、広島商船高専は特定の邦船社と「次世代の海事・産業分野を担う人材の育成」を目的とした産学連携に関する包括協定を締結するといった独自の取り組み(全国51高専中わずか2校)を実施している旨併せて説明がありました。長澤会長からは昨今即戦力として世間から注目を浴びており、外航海運業界にも数多くの優秀な人材を輩出している高専生の重要性について説明があるなど、幅広い分野にわたり意見交換が行われました。

意見交換後の校内視察では限られた時間でしたが、操船シミュレーターや実習工場でのものづくり工房や動力制御実験室、更には練習船広島丸の船内見学もさせて頂きました。



逸見校長等と意見交換



操船シミュレーター



実習工場



広島丸航海船橋

今回ご協力頂きました[海技教育機構](#)、神戸大学の各ホームページにも本視察の様子が掲載されておりますので、よろしければご覧ください。

当協会は今後も優秀な日本人海技者確保・育成に向け、関連機関と協力して幅広い活動を継続して参ります。